

今年度 園長より 幼稚園の教育については、保育中の担任の思い、幼児のかわいい裏話などを掲載していく予定です！

平成 29 年 5 月から開始します！

No.2 「小学校 5 年生と年長組の交流 その後」 平成 29 年 5 月 16 日（火）

○5 年生との交流の日、年長組の担任は 5 年生の担任とよく打ち合わせを行いました。そして 5 年生が幼稚園に来たとき、正直に「サクランボの実」が食べられてしまったことを伝えました。「えっ！」と驚く 5 年生。サクランボの木も見てもらいました。「やっぱりおいしかったんだね」「仕方がないよ」と。

それから幼稚園のプレイルームで 5 年生ときく組は触れ合い遊びをし、5 年生の作ってきたおもちゃで遊びました。5 年生はとっても関わり方が上手で園児にやさしく対応してくれました。とっても温かい気持ちになったきく組です。



○その交流が終わってから年長組担任が「お礼の気持ち」を 5 年生に伝えたい、と言いきく組に提案しました。きく組は「そうしよう！手紙を書きたい！」ということで、担任が文字を書き、その周りにたくさんの絵を書きました。この交流で得た嬉しい気持ち、5 年生の行動から小学生への憧れを感じた年長組に、担任はその気持ちをきちんと返したい思いだったようです。交流の次の日、小学校玄関で担任が 5 年生に出会った

時、5 年生が「先生、昨日は楽しかった。幼稚園生とまた遊びたい。関わり方も少し分かったような気がする。」と話しかけてきたんだそうです。それから年長組は手紙を作り、自分たちが作ったこいのぼりをもって 5 年生の教室を訪問しました。もちろん、その間に 5 年生の担任との打ち合わせをしたというのは言うまでもありません。給食の時間だったのに、5 年生は拍手で迎えてくれて手紙を渡したら 5 年生の先生がすぐに廊下に貼ってくれ、こいのぼりも見てくださいました。



きく組は大満足。自分たちもお礼を言えた、と大喜びでした。



その後、サクランボは赤くなり、園児の口には半分しか入りませんでした。年長組は、年中組、年少組、用務主事さん（サクランボの様子をいつも気にしてくれる）に今年度、自分たちがしか食べられなかったそのわけを伝えるに行きました。右の写真は用務主事さんに理由を伝えるに行った時の写真と、収穫したサクランボの写真です。かごの中にその日赤く熟したのは 16 個でした



<園長より一言>今回の記事では 5 歳児担任の考えがたくさん出てきます。担任は年長組がどのように交流を感じたのか、体験したことを小学校への憧れにつなげたい、また、今後 5 年生にも幼稚園児の育ちを分かってほしい、という思いで保育をしています。1 回きりで終わらない「心の交流」を今後も期待し、応援していきたいと思います。